

令和7年12月定例会運営日割

教育委員会1月定例会
その他(1)

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
12月 1日	月	9：30	議会運営委員会	議案等上程説明聴取
		10：00	本 会 議	
		本会議終了後	広報広聴委員会	
2日	火			休 会 (議案等質疑通告正午まで)
3日	水	9：30	議会運営委員会	議案等質疑 一部議決 委員会付託
		10：00	本 会 議	
4日	木	9：30	建設経済常任委員会	
5日	金	9：30	厚生環境常任委員会	
6日	土			休 会
7日	日			休 会
8日	月	9：30	子ども文教常任委員会	
9日	火	9：30	総務常任委員会	
10日	水	9：30	補正予算常任委員会	
11日	木	9：30	議会運営委員会	
		議会運営委員会 終了後	広報広聴委員会	
		広聴広聴委員会 終了後	議会改革推進会議	
12日	金			休 会
13日	土			休 会
14日	日			休 会
15日	月	9：30	議会運営委員会	常任委員会等報告・議決 一般質問
		10：00	本 会 議	
16日	火	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
17日	水	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
18日	木	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
19日	金	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
20日	土			休 会
21日	日			休 会
22日	月	9：30	議会運営委員会	一般質問 追加議案上程説明・委員会付託・ 常任委員会報告・議決
		10：00	本 会 議	
		本会議休憩中	補正予算常任委員会	
		本会議終了後	広報広聴委員会	

会 期

12月 1日(月)～22日(月) 22日間

子ども文教常任委員会日程【抜粋】

日時 令和7年12月8日（月）

午前9時30分

場所 第1議会委員会室

- | | | |
|------|-------|--------------------------------------|
| 1 議案 | 第64号 | 藤沢市立学校屋外運動場夜間照明設備使用料条例の一部改正について |
| 2 議案 | 第66号 | (略) |
| 3 議案 | 第67号 | (略) |
| 4 議案 | 第68号 | (略) |
| 5 陳情 | 7第37号 | 神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 |
| 陳情 | 7第38号 | 国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 |
| 6 報告 | （1） | (略) |
| | (2) | (略) |
| | (3) | (仮称) 藤沢市文化財保存活用地域計画の策定について
(中間報告) |
| | (4) | 藤沢市子ども読書活動推進計画の改定について (中間報告) |

(仮称) 藤沢市文化財保存活用地域計画の策定について（中間報告）

1 趣旨

本市には、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財が数多く存在しますが、文化財を取り巻く環境は非常に厳しく、文化財の保存にかかる費用負担や扱い手不足など、さまざまな喫緊の課題に直面しています。

そこで、文化財の保存と活用に関する課題解決を図り、総合的・一体的な取組を推進するため、新たに「（仮称）藤沢市文化財保存活用地域計画」（以下「本計画」とする。）を策定するものです。

2 本計画の概要

(1) 本計画の位置付け

本計画は、文化財保護法第183条の3に基づいた法定計画であり、本市における文化財の保存と活用に関する中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと短期的に実施するアクションプランの両方の役割を担います。計画の策定にあたっては、神奈川県文化財保存活用大綱を勘案するとともに、「藤沢市市政運営の総合指針2028」や「藤沢市教育振興基本計画」、その他関連計画とも整合性を図ります。

(2) 計画期間

令和8年度～令和15年度（8年間）



(3) 将来像

藤沢郷土資源を未来へ ～藤沢郷土資源をつないで みんながつながるまち～

藤沢郷土資源を未来へつなぎ、効果的な保存・活用を図るために、「藤沢市市政運営の総合指針2028」におけるまちづくりテーマのひとつ「未来を見据えてみんなで進める」を踏まえ、藤沢郷土資源の保存・活用に関する将来像を設定します。

(4) 基本目標

【基本目標 1】 しる～藤沢郷土資源を知り、魅力を伝える～

藤沢郷土資源の継続的な調査、研究の強化を図り、情報発信を多く行うこと
で、藤沢郷土資源の魅力を伝える活動を推進します。

【基本目標 2】 まもる～藤沢郷土資源を守り、未来へつなげる～

藤沢郷土資源を適切に管理し、未来へつなげるための持続可能な体制づくり
を推進します。

【基本目標 3】 いかす～藤沢郷土資源を活かし、みんながつながる～

藤沢郷土資源を活かし、さまざまな担い手がつながることで、より一層の活用
やにぎわいを創出します。

(5) 方針及び主な取組

本計画における将来像や基本目標を実現するため、13の方針を定め、取組を進め
ていきます。

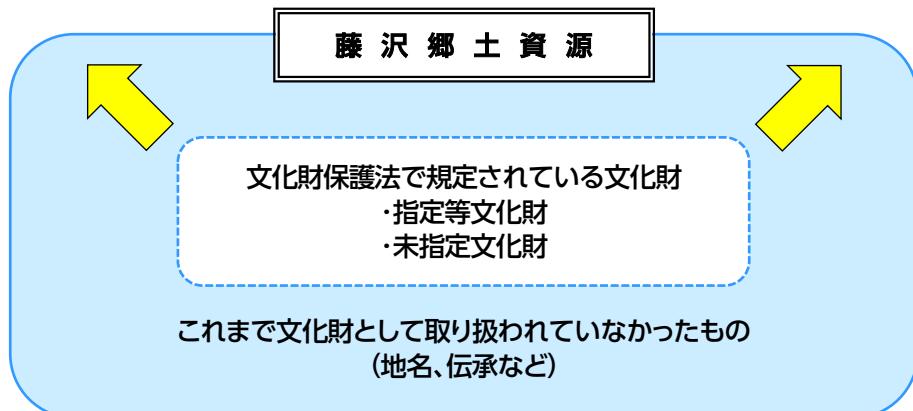
基本目標	方針	主な取組
「藤沢郷土資源を知り、 魅力を伝える」	1 藤沢郷土資源の把握調査を推進する	・把握調査の手法の検討 ・新たな藤沢郷土資源の把握
	2 藤沢郷土資源の現状を把握する	・継続的な現況調査の実施 ・所有者等へのアンケート調査の実施
	3 収蔵資料の整理を推進する	・継続的な資料整理 ・データベースの構築
	4 藤沢郷土資源に関する情報発信を 強化する	・SNSによる情報発信の強化 ・講座・講演会等の開催
「藤沢郷土資源を守り、 未来へつなげる」	5 藤沢郷土資源の保存・管理を推進する	・指定・登録の推進 ・文化財保護法等に係る手続きの周知
	6 藤沢郷土資源の所有者等の負担軽減 を図る	・国・県等による助成制度の活用 ・新たな支援策の検討
	7 藤沢郷土資源の収蔵環境を整備する	・新たな収蔵庫の整備
	8 藤沢郷土資源の防火・防災体制を 強化する	・防火対策ガイドラインの作成 ・災害発生時の体制の構築
	9 藤沢郷土資源の新たな担い手を 育成する	・小学校での出前授業等の実施 ・無形の民俗文化財の活動支援
「藤沢郷土資源を活かし、 みんながつながる」	10 藤沢郷土資源を活用した展示を 推進する	・藤沢郷土資源を活用した展示の実施 ・新たな展示方法の検討
	11 歴史的建造物の適切な活用を 推進する	・歴史的建造物の活用 ・保存活用計画の作成支援
	12 藤沢郷土資源を活用したにぎわいを 創出する	・藤沢市ふじさわ宿交流館の運営 ・観光誘客の強化
	13 藤沢郷土資源に関する連携を 強化する	・文化財フォーラムの開催 ・近隣自治体等との連携強化

3 本計画の特徴

(1) 対象文化財の拡大「藤沢郷土資源」

藤沢市域の歴史を正しく理解するためには、文化財保護法で規定されている指定や未指定等の文化財だけでなく、これまで文化財として捉えられてこなかった地名や伝承なども必要となることがあります。

本計画では、これらの「藤沢市域の歴史を正しく理解するうえで欠かせない情報を持つもの」を「藤沢郷土資源」と定義し、保存・活用の対象を拡大します。



(2) 藤沢らしさを構成する「歴史文化の特徴」

歴史文化の特徴とは、多様な文化財とそれらを生み育んだ自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的背景等を総体的に把握した概念であり、藤沢らしさを構成するものです。歴史文化の特徴を理解することで、本市の特徴を活かした藤沢郷土資源の継承につなげていきます。

歴史文化の特徴	歴史文化の特徴を表すテーマ
水が造りあげた大地のかたち ～地形を巧みに利用した人々の営み～	台地、水源、谷戸、集落遺跡
湘南の海と砂丘 ～相模湾がもたらした多彩な恵み～	海、砂丘、江の島、景観
信仰が集めた人と物 ～願いがもたらした藤沢の文化～	信仰、社寺、伝承、祭り
藤沢を形作った陸の道・海の道 ～東海道とさまざまな道が呼び込んだ発展～	東海道、江の島道、海路、鉄道
さまざまな風土によって生み出された多様な生業 ～地域色豊かな藤沢～	風土、生業

(3) 藤沢郷土資源をつなぐ「ふじさわ歴史ストーリー」

歴史文化の特徴に基づいて、藤沢郷土資源を一定のまとまりとして捉えたものを「ふじさわ歴史ストーリー」と定義します。

藤沢郷土資源にストーリー性を持たせることで、これまで把握できていなかった価値や魅力を創出し、新たな保存・活用の取組につなげていきます。

ふじさわ歴史ストーリー	構成する藤沢郷土資源の例
藤沢を駆けた武士たち	大庭城跡、「城下」等の地名、社寺
信仰と観光の島 江の島	江ノ島、江の島を題材とした浮世絵、岩屋
旅人と商人でぎわうまち 藤沢宿	清淨光寺(遊行寺)、小栗判官伝説、東海道
日々の営みと人々の祈り	相模のさら踊り、祭りばやし、人形山車

(4) 「(仮称) 藤沢市藤沢郷土資源保存活用推進協議会」の設置

(仮称) 藤沢市藤沢郷土資源保存活用推進協議会を新たに設置し、藤沢郷土資源の保存・活用に向けた推進体制を強化するとともに、協議会を構成する行政・所有者等・市民・関係団体・教育機関等の連携強化や情報共有を図ります。

4 (仮称) 藤沢市文化財保存活用地域計画(素案) 資料2のとおり

5 本計画策定に向けたこれまでの取組及び今後の予定

令和6～8年度	藤沢市文化財保存活用地域計画策定協議会の開催 藤沢市文化財保護委員会の開催 文化庁との協議
令和6年 9～10月	アンケート調査の実施
12月	ワークショップの開催
令和7年 7月	ワークショップの開催
9月	文化庁調査官による視察
12月	12月市議会定例会に「(仮称) 藤沢市文化財保存活用地域計画」について素案の報告
12月～	パブリックコメントの実施(12月10日～1月8日)
令和8年 2月	2月市議会定例会に「(仮称) 藤沢市文化財保存活用地域計画」について最終報告
4～6月	認定手続き・関係省庁との調整等(計画内容が変更になる場合あり)
7月	文化庁による認定

以上

(事務担当 生涯学習部郷土歴史課)

藤沢市子ども読書活動推進計画の改定について（中間報告）

1 趣旨

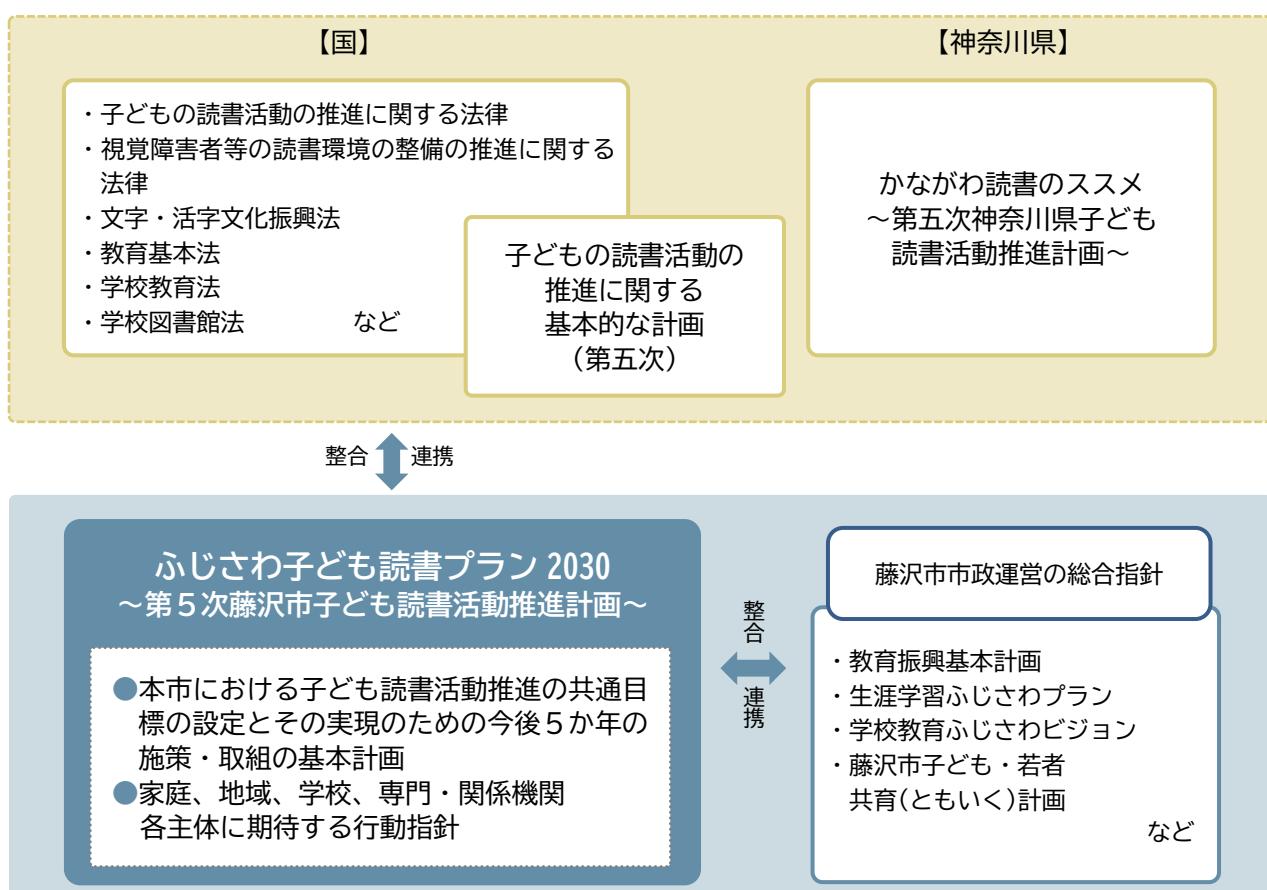
本市では、すべての子どもたちが本に出会い、言葉にふれ、本に親しめる環境をより豊かに整えるため、平成18年3月に「藤沢市子ども読書活動推進計画」を策定し、以降、計画の見直しや更新を重ねながら、様々な取組を進めてきました。

現行計画（第4次計画）は今年度で終了することから、現状や課題を踏まえ、これまでの取組の評価・見直しを行い、新たに「第5次藤沢市子ども読書活動推進計画」（以下「第5次計画」という）を策定するものです。

2 計画の位置づけと期間

第5次計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項に基づく市町村子ども読書活動推進計画として位置づけ、国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、県の「第五次神奈川県子ども読書活動推進計画」及び本市の「藤沢市教育振興基本計画」等、他の計画とも整合性を図り、さらにSDGsの理念を踏まえて策定します。

また、第5次計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。



3 改定経過

- 令和6年 9月 第1回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
12月 藤沢市子ども読書活動推進計画改定にかかるアンケート調査実施
- 令和7年 2月 第2回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
6月 第3回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
8月 第4回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
9月 藤沢市子ども読書活動推進計画改定にかかるアンケート調査追加実施
10月 第5回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会

4 計画改定のポイント

(1) アンケート調査等から見えてきた新たな視点

計画を改定するにあたり、子どもの読書活動に関する市民の様々な意識やニーズを調査・把握することを目的とし、幼児の保護者、小学2年生、小学5年生、中学2年生、16～17歳、及びその保護者に対して、アンケート調査を行いました。このアンケート調査結果の分析から子どもに係る現在の状況を把握するとともに、国・県等の動向に鑑みながら子どもの読書活動の現状について検討し、見えてきた課題を踏まえ、次の3つを新たな視点と捉えて施策を展開していきます。

- ア 読書への関心を高める工夫
- イ デジタル社会の急速な変化への対応
- ウ すべての子どもたちの読書機会の確保

(2) 事業の見直しと再構築

これまでの計画では、「家庭」「学校」「地域」を中心に取組を進めてきました。今回の改定では、県の第五次計画においても取り上げられている「専門・関係機関」を加え、現行計画での93の事業について内容を整理し、14の取組として再構築しました。これにより、それぞれの役割をより明確にし、連携を深め、子どもが本に親しむ機会を広げる基盤を強化することで計画全体の実効性を高め、子どもの読書環境の推進を図ります。

5 第5次藤沢市子ども読書活動推進計画（素案）

資料2 参照

6 今後のスケジュール

- 令和7年12月 藤沢市議会定例会にて素案を報告
パブリックコメントの実施（12月10日～令和8年1月10日）
- 令和8年 1月 第6回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会にて最終案を決定
2月 藤沢市議会定例会にて最終案を報告
3月 第5次藤沢市子ども読書活動推進計画策定

以上

（事務担当 生涯学習部 総合市民図書館）

一般質問の件名及び要旨

令和7年12月定例会

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
1	<u>安田景輔</u>	1 農業について <u>2 障がい児への支援について</u> 3 防災について 4 下水道について	(1) 水田保全とライスセンターについて (1) <u>障がい児支援に関する本市の取り組みの周知について【教育部】</u> (2) 通所支援と相談支援について (3) 5歳児検診について (1) 災害関連死について (1) 下水道管路の全国特別重点調査について
2	今井みきこ	1 健康施策について 2 交通施策について	(1) 乳幼児健康診査について (2) 成人検診について (1) 自転車のルールの周知について (2) 自転車ヘルメット着用普及について (3) 駐輪場について (4) 矢羽根について (5) 狹路や歩道の安全対策について
3	甘粕和彦	1 市長の政治姿勢について	(1) 北朝鮮による日本人拉致問題への本市の取組みについて (2) 村岡地区のまちづくりについて
4	<u>塙本昌紀</u>	1 安心の地域医療と薬事環境について 2 国際人を育てる本市の教育について 3 本市の物価高騰対策について	(1) 市民病院の満足度向上について (2) 地域医療の課題と災害時の支援体制について (3) <u>薬剤師会との連携強化について【教育部】</u> (1) <u>本市の英語教育について【教育部】</u> (1) 交付金の活用について
5	加藤彩野	1 教育行政について	(1) 「子どもの発達」を真ん中にすえた教育について【教育部】

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
6	松 尾 宏 之	1 誰もが生き生きと暮らせる藤沢へ	(1) 高齢者支援について (2) L i D A P Dについて (3) 障がい者理解促進と地域共生社会について
		2 安心して子育てができる藤沢へ	(1) 藤沢市立保育園について
7	森 井 健太郎	1 救急車出動のひっ迫について	(1) 救急車出動のひっ迫について
		2 市立学校における市制記念日の扱いについて	(1) 市立学校における市制記念日の扱いについて
8	東 木 久 代	1 予防医療について	(1) ワクチン接種について
		2 暮らしを守る施策について	(1) 高齢者の移動と住まいについて
		3 魅力あるふじさわづくりについて	(1) 北部・西北部の活性化と可能性について
9	竹 村 雅 夫	1 誰ひとり取り残さない藤沢のまちづくりについて	(1) 多文化共生の現状について (2) 多文化共生施策について【教育部】 (3) 人権と多文化共生について
10	桜 井 直 人	1 地域にかかる諸課題について	(1) 自治会・町内会について (2) こども会について
		2 藤沢駅周辺のにぎわいについて	(1) 橋上の課題について
11	原 田 建	1 日本国憲法を守るべきは誰か。	(1) 憲法から考える社会課題と市政課題【教育部】
12	小 池 恵 子	1 将来を見据えた多文化共生のまちづくりについて	(1) 専門部署の設置について (2) 日常生活の支援について【教育部】 (3) 土葬墓地について
13	土 屋 俊 則	1 国民健康保険について	(1) 外国につながりのある人の人権について (2) 保険料について

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
1 4	栗 原 貴 司	1 誰もが生活し易い街作りについて	(1) 外国人施策について
		2 観光について	(1) 安心・安全な観光について
1 5	<u>柳 田 あ ゆ</u>	<u>1 「民法等の一部を改正する法律」の施行に備えて</u>	<u>(1) 法改正にともなう市の対応について【教育部】</u>
1 6	<u>西 川 誠 志</u>	1 マルチなパートナーシップを作り続けるために	(1) 共創の在り方について
		2 安心安全なまちづくりについて	(1) 自転車行政について
		<u>3 財源を有効活用するため</u>	<u>(1) ふるさと納税について【教育部】</u>
1 7	石 川 麻 央	1 下水道マンホール蓋の活用について	(1) マンホール蓋を活用したPR推進と広告事業について
		2 地域経済の活性化について	(1) 創業支援について
		3 持続可能なまちづくりについて	(1) ロボットと共に推進について
1 8	味 村 耕太郎	1 生活保護行政について	(1) 最高裁判決への対応について (2) 外国人利用世帯の状況について
1 9	西 智	1 市役所について	(1) 開庁時間と市民サービスの最適化について
		2 たばこについて	(1) 喫煙率0%と喫煙所のあり方について

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
20	谷 津 英 美	1 <u>化学物質過敏症について</u>	(1) 周知啓発について【教育部】
		2 共育について	(1) 産前・産後ケアについて
		3 少子化人口減少社会に対応する持続可能なまちづくりについて	(1) こどもの権利擁護について
21	井 上 裕 介	1 有効活用について	(1) 市民利用会議室について
		2 部活動について	(1) 部活動の地域展開について【教育部】
22	有 賀 正 義	1 公有財産の有効活用について	(1) パートナーシップ提案制度について
		2 循環型社会の推進について	(1) 再生リン資源について
23	佐 賀 和 樹	1 バイク駐車場について	(1) 市内のバイク駐車場の設置状況と今後について
24	神 尾 江 里	1 <u>今こそ考えたい「多様性の尊重と包摶する社会」の実現に向けて</u>	(1) 弱視児支援の現状とインクルーシブ教育の課題について【教育部】 (2) 全ての人を社会的孤立や排除から守り、多様性と包摶性のある社会の実現に向けた『インクルーシブ条例』の制定について
25	松 長 由美絵	1 自然を守り豊かな環境をつくる取り組みについて	(1) 保存樹林について
		2 誰もが豊かに生活し支え合う社会について	(1) 困難を抱えながら自立を目指す若者の支援について
26	柳 沢 潤 次	1 地方自治体のあり方について	(1) 公共を取り戻すことについて (2) 民間委託化について (3) 指定管理者制度について

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
27	<u>町田 輝佳</u>	<u>1 市長の政治姿勢について</u>	(1) 秩序ある共生社会の実現について (2) 宗教的配慮について【教育部】
		<u>2 観光について</u>	(1) 西北部における観光施策について
		<u>3 高齢者支援について</u>	(1) 湘南なぎさ荘について (2) 高木ふれあい荘の今後について
28	<u>石井 世悟</u>	<u>1 防災政策について</u>	(1) 事前復興計画について (2) 学校安全総合支援事業について【教育部】 (3) 防災備蓄資機材について
		<u>2 地域活性化と魅力創出政策について</u>	(1) 旧東海道藤沢宿について《生涯学習部》
		<u>3 学校施設について</u>	(1) スポーツ活動における学校開放事業について《生涯学習部》 (2) 学校施設の管理と運営について【教育部】